

一般質問通告事項一覧表

令和6年 第4回 俱知安町議会定例会

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
1	坂井 美穂	増える単身者の支援について	<p>わが国における単身世帯の割合は、2025年には40%に達し、その後も増加して半数に近づくと見込まれる。中でも、一人暮らしのシニア世帯の増加の割合が急増している。背景には少子高齢化に加え、ライフスタイルの多様化で子どもや孫と同居する高齢者が減少していることや、団塊ジュニア世代を中心に未婚率が高いことも影響していると言われる。高齢化と単身化によって、社会的つながりが希薄化したり、身寄りのないシニア世帯が一層増えるとみられる。地域で孤独・孤立しがちな人たちを支える施策が求められるが、現在どのような支援体制がとられているか伺う。</p> <p>また、単身者が中心となりつつある社会で課題に挙げられているのが、住まいの確保である。これまでの住宅政策で、家族を重視して持ち家取得の推進に比重が置かれてきた。公営住宅も高齢者の単身入居は認められる一方、高齢世代の少し下の中老年世代や若年世代は入居のハードルが高い。若年や中高年の単身者が住宅政策の支援対策から外れがちに思われるが、単身世帯の増加傾向が続く中、目配りをしていく必要があると思われる。また、未婚や離婚等を背景に単身高齢者が増える中、持ち家のない人が少ない年金から家賃を払い生活するケースも少なくない。持ち家があっても維持管理などの負担が重荷になり、安定した住まいを確保し続けることが難しくなっている。世代や家族がいる・いないにかかわらず、一人一人の住まいを保証していく視点が必要であるが本町の現状と課題について伺う。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
2	坂井 美穂	聴力維持と健康	<p>加齢とともに聴力の衰えが現れ、音が聞き取りにくくなる加齢性難聴は認知症になる最も危険な要因であることが報告されており、聞こえを改善し会話の弾む環境を整えることが認知症の予防にもつながると言われる。また、難聴は認知症だけでなく、うつや社会的孤立も招く危険性がある。耳鼻咽喉科頭頸部外科学会はささやき声が聞こえる30デシベルの聴力を80歳で維持する「聴こえ8030運動」をこの秋から始めているようである。本町では、難聴予防策や高齢者の聞こえの問題にどのように対応しているのかを伺う</p> <p>また、加齢性難聴には補聴器が多く使用されているのだが、人が音を聞くための経路はこれまで空気を通じて聞く気導と骨を振動させて聞く骨伝導の2つであると考えられていたが、2004年に第3の聴覚である軟骨伝導が発見された。</p> <p>軟骨伝導とは、耳の穴の周辺にある軟骨の振動により、外耳道の内部に音源が生まれるもので、この原理を応用した軟骨伝導ヘッドホンが2022年に発売され、続いて、昨年には集音器とセットになった窓口用イヤホンが発売された。</p> <p>窓口での対応に軟骨伝導イヤホンを導入することで、大声で話す必要がないため叱っているなどの誤解を受けることがなく、何より来庁者が良く理解し安心していただくことができるのではないかと。小声でもはっきりと聞こえるため、周囲に個人情報や相談内容を聞かれないことや、通常の気導イヤホンと違って耳の穴に入れるのではなく、耳の後ろにかける仕様であり、消毒しやすい形のため清潔に使うことができるのも大きなメリットである。老眼鏡が多くの窓口でスタンダードなサービスとして置かれているように、加齢性難聴を抱えた高齢者への住民サービスの向上として、軟骨伝導イヤホンの導入に対しての考えを伺う。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
3	坂井 美穂	町の鳥の制定について	<p>現在、本町のシンボルとして「木」「花」は制定されているが、「鳥」は制定されていない。自然豊かな本町において、さまざまな鳥がみられるが、シンボルとして、町民に愛されるマスコット的な鳥の制定をしていくことに対しどのようにお考えか。(町長)</p> <p>また、教育現場において、現在野鳥の観察などフィールドワーク的な教育はされているかを伺う。(教育長)</p>	町長 教育長	
4	小川 不朽	本町の一般廃棄物処理事業の改善に向けて	<p>俱知安町の一般廃棄物処理事業は、「俱知安町廃棄物の減量及び適正処理に関する条例（「ごみ条例）」の定めに従って事業が行われている。</p> <p>この条例は、廃棄物の排出を抑制し、再利用を促進することにより廃棄物の減量を進めるとともに、廃棄物の適正な分別、保管、収集、運搬、再生、処分等の処理をし、併せて循環型社会の形成、生活環境の保全及び公衆衛生の向上を図り、もって町民の健康で快適な生活を確保することを目的としている。</p> <p>本町の一般廃棄物処理事業の改善に向けて以下の2点について伺う。</p> <p>1. 今年度、町は「スマートゴミ箱」設置の事業を行うこととしているが、</p> <p>1) 本事業の目的と計画について</p> <p>2) ①「スマートゴミ箱」が受け付けるごみ（廃棄物）は「家庭系廃棄物」ととらえるのか「事業系廃棄物」ととらえるのか。</p> <p>②「スマートゴミ箱」は「ごみステーション」「ごみ集積場所」とみなすのか。</p> <p>③分別回収が可能となっているものか。</p> <p>④ごみの排出容器（指定専用袋）を不要とするものか。</p> <p>3) 本事業は、条例及び一般廃棄物処理基本計画、実施計画に適合した事業となっているか。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(4)	(小川 不朽)		<p>前頁より</p> <p>2. 町内のごみステーションにおいて、違反ステッカーは分別がきちんとされていないなかったり、収集日を間違えたりすると貼られるものであるが、貼られたごみの持ち主が出し直すことはなく長期間放置されることが散見され、いきついた結果として町内会で分別しなおし収集していただくことが多々ある。ルールを守られない町民に対する違反ステッカーの効果的活用が求められるが対応策を伺う。</p>		
5	原田 芳男	給食費の無償化の推進を	<p>学校給食費の2023年度で全国の自治体の30%が無償化していることが文部科学省の調査で明らかになりました。</p> <p>全国1718自治体のうち30.5%の547自治体で小中学校で無償化が実施されています。</p> <p>近隣の黒松内、赤井川、仁木などでも実施されており、広がる方向です。倶知安町でも実施すべきと考えますが、いかがでしょうか。町長・教育長の答弁を求めます。</p>	町長 教育長	
6	原田 芳男	病児・病後保育の実現が必要では	<p>病児・病後保育は、病気や回復期にある子どもを抱える保護者にとって必要な施策です。</p> <p>倶知安町でも実現を望まれる事業であり、札幌市や音更町、千歳市、江別市、深川市、旭川市、七飯町、南幌町、別海町、室蘭市、池田町、大空町、喜茂別町、足寄町、厚沢部町、本別町などで行われています。</p> <p>当町でも実施すべきと考えます。町長の答弁を求めます。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
7	原田 芳男	パートナーシップ条例の制定を	<p>現在、ジェンダー平等とともにLGBTQの課題も問われています。</p> <p>北海道でも各地でパートナーシップ宣言に係る条例が制定され、北海道の人口の50%を超える人たちが暮らしており、来年度は70%に達すると報道されています。</p> <p>パートナーシップ宣言をすることによって、夫婦と同等の制度が適用されますが、その制度が実施されていない市町村に滞在中は、その制度の適用外となり、全道・全国で実施されることが望ましいと感じています。</p> <p>わが町でのパートナーシップ条例の制定について、町長の答弁を求めます。</p>	町長	
8	唐澤 隆博	小中学校の学校給食費の無償化について	<p>学校給食は「食育の推進」と学校給食法第1条にその役割と目的が規定されており、各教科の学習と並んで学校教育の柱となっている。学校給食は児童生徒の心身の健全な発達に資するもので、望ましい食習慣を養うなど教育的効果は大である。</p> <p>本町においては第3子以降において無償としているが、給食費の支出は保護者の負担が大きい。また、子育て支援や少子化対策として小中学校の給食費の全額補助を行う自治体が増えている。この地で育った多くの食材を使った給食を提供することは子どもたちの健やかな成長を保証することとなる。本町において学校給食の無償化を実施すべきであると考えます。</p> <p>3月の一般質問で町長はすべての教育費の無償化は理想であると答弁があった。まずは給食費の完全無償化を行うべきと考えますが、町長の考えを伺う。</p>	町長	
9	唐澤 隆博	質の高い文化事業の実施について	<p>第6次倶知安町総合計画の中で、健康づくり・スポーツ・生涯学習の重点政策として生涯学習と文化振興の充実が明記されている。倶知安町に暮らすすべての人の心身の健康づくりの一つである文化・芸術の振興は重要である。町では美術館、風土館の事業など各種事業が実施されている。ま</p> <p>次頁へ続く</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(9)	(唐澤 隆博)		<p>前頁より</p> <p>た、公民館の文化振興事業は公民館自主事業として演劇・音楽・伝統芸能などの公演を実施しているところである。特に文化協会の自主事業として実施してきているが、質の高い公演を招聘することが必要であるとする。以下について町長・教育長に伺う。</p> <p>①文化協会自主事業は子どもからお年寄りまですべての町民が鑑賞できる企画であり、より多くの方が鑑賞できることが望ましいと考えるが、見解を伺う。(町長・教育長)</p> <p>②学校行事として今後芸術鑑賞実施の計画はあるのか伺う。(教育長)</p>		
10	唐澤 隆博	豊かなところを育てる 道徳教育の充実について	<p>先日10月末、千歳市の大学生が交際相手の20歳の女らと未成年の少年などに暴行され殺害、さらに被害者のキャッシュカードから現金十数万円を引き出していた、と報道があった。旭川の中学少女いじめ事件や留萌女子高校生の殺人事件など北海道において若年層の凶悪犯罪が続いており、心痛な思いである。犯罪の要因は家庭環境や社会的要件、メディアの発達により暴力や殺人などの影響を受けることが多くなったことなど考えられる。家庭と学校、社会が連携し命の尊さを常に念頭に指導していかなくてはならないと考える。学校教育現場の指導について伺う。</p> <p>①小中学校における道徳教育の指導について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・指導教員の割り当て、指導体制について ・教科「道徳」の研修について ・年間計画について <p>②道徳教科以外の徳育指導はどのように行われているか</p> <p>③児童生徒のタブレット端末のセキュリティ管理はどのように行われているか</p> <p>④児童生徒のスマートフォンの普及率は。また、使用について学校の指導は行っているか</p> <p>⑤学校、家庭、社会との連携はどのように行われているか</p>	教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
11	早川 貴士	我が町のスキー文化の推進とリフト券の町民優待について	<p>「スキーの町」を宣言している我が町では住民の生活の質向上を目指す中で、スキー・スノーボード等のウィンタースポーツ（以下スキー）は重要な要素である。スキーを通じて住民が地域資源を共有し、スキーリゾートがある喜びを得られる環境作りが必要と考える。</p> <p>現在、町では町内の小中学生ヘグラン・ヒラフ・HANAZONOリゾートのシーズン券を配布している。大人には今シーズンも両索道事業者の協力で、今年度は地域DMOにて、Kutchan ID+を利用した町民優待1日券とシーズン券が実現しているが、昨今の物価高騰、賃上げ率の低迷により、町民、特に子育て世帯からは、</p> <p>「もう少し安ければ助かる」「子どもと滑りたいが、たくさんは滑れないから割引は1日券ではなく、シーズンを通して利用できる安価な時間券があれば良いのに」「成長に合わせた道具の買い替えが大変」等の声がある。</p> <p>これらの環境充実に向けた施策は、スキーを楽しむ住民の増加が見込め、「スキーの町」を宣言している我が町にとっては本懐ではないだろうか。また、これらの施策は、スキーリゾートを魅力として定住者を増やす可能性に繋がり、地域事業者における人材の確保、そして倶知安町の人口減少を抑えられることも期待ができる。</p> <p>そこで以下について町長と教育長の見解を伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 包括連携協定を結んでいる両スキー場と、よりしっかりと町の方針を共有し、事業者だけではなく、町も協力した、町民が気軽に利用できる環境整備を更に推進すべきと考える。見解を伺う。（町長） 2 子どもたちがスノースポーツに親しむためには、用具の確保が重要。子育て世帯の経済状況は厳しい。リユース、レンタル落ちなどのマッチングを、町が主体的に関わる施策はできないだろうか。見解を伺う。（教育長） 	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
12	早川 貴士	新たに建設予定のプール絵本館について	<p>町長の公約でもあり、町民の願いとして図書館の実現がある。大きな予算をプール絵本館に投じるのであれば、より多くの世代の町民が集えるプール図書館でも良いのではないだろうか。その図書館には絵本館が内包され、そこにはカフェがオープンし、世代を超えた町民が集える交流拠点施設の方が、より良い計画ではないかと考える。パブリックコメントや先の子ども議会でもそのような意見が挙がっており、子育て世代、高校生や中学生、そして高齢世代も、勉学に励み、集い、プールで身体を動かせる、世代を超えた交流拠点施設の実現を多くの町民は望んでいる。</p> <p>しかし、パブリックコメントへの回答は、</p> <p>「倶知安町の絵本館は、遊びながら・走り回りながら自由に図書に触れ合え、青少年センターや世代交流センターと一体的に活用されてきた本町独自のユニークな施設と考えております。これら動的な要素や雰囲気づくりにおいて、必ずしも図書室との複合化が優先ではないとの考えから本計画を進めてきました」</p> <p>としている。</p> <p>また子ども議会での「学生の娯楽について」の高校生の質問では、</p> <p>「新たに計画しているプール絵本館、現段階では役場3Fホール、図書室、仮設絵本館など高校からも近く活用できるのでは」</p> <p>としている。</p> <p>これらを踏まえ町長と教育長に伺う。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 町民の大きなニーズがあるのにも関わらず、必ずしも図書室との複合化が必要ないと考える理由を伺う。(町長) 2 絵本館での高校生の利用を想定しているのであれば、絵本館機能だけでなく、図書機能が必要であり、多くの世代の利用促進のためにはカフェの併設も有効と考える。見解を伺う。(町長)(教育長) 3 吹き抜け部分を減らし有効活用すれば図書館の実現は可能ではないだろうか。見解を伺う。(教育長) 4 例えば木の滑り台などの室内遊具の設置はより良い施設になると考える。見解を伺う。(教育長) 	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
13	早川 貴士	町営温泉の実現について	<p>言うまでもなく町民にとって町営温泉の実現は長年の望みである。各定例議会において各議員からさまざまな質問が挙がっている。先の定例議会でも町長は「民間の力を借りて整備するのが望ましい」「条件だとか、こちらからの話がまとまっていない中では、なかなか話も進展していかない」「調査費等を予算計上するのは差し控える」と答弁している。</p> <p>しかしながら、条件等の精査には、まずは場所の選定、どこが町民にとって利用しやすいのか。そもそも良質な温泉が出るのか。未だ不明瞭な部分が多く、やはり調査は必要ではないかと考える。今現在は2期目の折り返し地点が迫る中、公約実現、町民の望み実現に向けた具体的な動きが見えない。</p> <p>そこで以下について町長の見解を伺う。</p> <p>1 条件について、とりわけ場所に関しては、公設市場付近や旭ヶ丘等が以前から論じられている。先の決算特別委員会では公設市場は公設である必要性は薄れてきていると担当課長からの発言もあった。付近には民間の農地だった遊休地もあり、町が仮に民地を取得できれば、温浴施設の実現や民間と連携した道の駅温泉のような複合拠点施設の実現の可能性もあるのではないだろうか。また旭ヶ丘においては、倶知安 IC の近くであり、旧プール跡地を活用した温泉施設の実現の可能性はないだろうか。見解を伺う。(町長)</p> <p>2 町民の望みを認識していながらも具体的な施策が見えてこないのは、職員不足が根底にないだろうか。特に民間との連携事業は制度に精通した職員が必要とも聞く。見解を伺う。(町長)</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
14	波方 真如	住民の移動手段確保 と交通施策の改善	<p>冬期間、デマンドバス（じゃがたく）と町民向けタクシーが住民の重要な移動手段として機能しています。しかし、これらのサービスには地域や時間帯による制約があり、すべての住民にとって十分に公平で持続可能な運行体制が整っているとは言えません。</p> <p>1. 地域間の公平性について デマンドバス（じゃがたく）の運行対象地域では、路線バスが運行されていない地域や、運行されていても日常利用が難しい地区・高齢化率が著しい地域が対象となっていますが、実際には樺山地区など対象外の地域もあります。地域間の交通アクセスの公平性をどのように考えていますか。</p> <p>2. 本運行への移行について 実証運行から本運行への移行基準はどのように設定されていますか。</p> <p>3. 持続可能な運行体制の構築について 費用対効果の高い運行体制を検証するため、1台での「北部」「東部」「西部」を毎日運行とし、予約・運行状況を検証するとしていますが、これまでの検証で得られた分析結果について、具体的な内容を伺います。</p> <p>4. 町民向けタクシー 車両台数と運行時間の制約について 今年度の町民向けタクシー運行体制では、車両台数が1日2台、運行時間が6時から15時までに限定されています。この制約が住民の利便性を損なっている可能性について、どのように認識し、改善を図る予定ですか。</p>	町長	
15	波方 真如	デジタル時代のいじめ 防止と環境整備	<p>文部科学省の調査によれば、2023年度のいじめ認知件数は73万件を超え、過去最多となっています。また、2022年の読売新聞の調査によれば、全国の主要109自治体のうち、少なくとも25自治体で学習用端末を使ったいじめが47件確認されています。</p> <p>1. 学習用端末を使ったいじめの現状と対応策について 町内の学校では、学習用端末を使ったいじめの現状と対応策についてどのように取り組んでいますか。</p> <p>次頁へ続く</p>	教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(15)	(波方 真如)		<p>前頁より</p> <p>2. SNS を介したいじめやリスクへの対応について オーストラリアでは 16 歳未満の SNS 利用を制限する法律が可決されるなど、世界的に対応が重要視されています。町内の学校での SNS リスクに関する教育や指導内容、ならびに年齢制限の導入可能性について町の見解を伺います。</p> <p>3. デジタルリテラシー教育の充実について 安全なデジタル環境を構築するためには、デジタルリテラシー教育が不可欠です。町内の学校で行われている教育の具体的な内容と、その効果をどのように測定していますか。</p>		
16	波方 真如	未来を見据えた子ども支援施策の充実について	<p>① 子ども議会の実効性向上と独自予算化について 青少年育成会が主催する「子ども議会」は、小中学生が議員や議長を務める貴重な場として、これまで 22 回開催されています。しかし、現在は質問内容が具体的な政策に結びつく機会が少なく、さらなる成長の場として発展させる必要があります。</p> <p>1. 子ども議会における質問内容が政策に結びつく機会が限られている状況を、どのように評価されていますか。(町長)</p> <p>2. 子ども議会に独自予算を付与し、提案を実行に移せる仕組みを導入する可能性について、町長の見解をお聞かせください。(町長)</p> <p>3. 提案(質問)内容を町政に反映する具体的なプロセスを整備することについて、どのようにお考えですか。(町長)</p> <p>② 学校給食無償化による格差是正と教育現場の改善について 学校給食費無償化は、家庭の経済的格差を是正し、すべての子どもたちが平等に教育を受けられる環境を整えるだけでなく、教職員の働き方改革にも寄与する施策です。</p> <p>1. 学校給食費無償化が経済的格差の是正に与える効果について、町長の見解をお聞かせください。(町長)</p> <p>次頁へ続く</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
(16)	(波方 真如)		<p>前頁より</p> <p>2. 無償化が教職員の働き方改革に与える影響について、どのように評価されていますか。(教育長)</p> <p>3. 無償化を実現するための財源確保の可能性について、町長の見解をお聞かせください。(町長)</p> <p>③一時預かり事業の充実と拡充について</p> <p>一時預かり事業は、保護者が一時的に家庭での保育が困難な場合に重要な役割を果たしています。しかし、利用定員や時間、場所の制約があり、保護者のニーズに応えられていません。</p> <p>1. 利用定員や利用時間の拡大、実施場所の増設について、町としてどのように検討されていますか。(町長)</p> <p>2. 月1回の利用制限を見直し、より柔軟な利用が可能な仕組みを導入することは可能でしょうか。(町長)</p>		
17	森 禎樹	スキー振興について	<p>本町は昭和47年に「スキーの町宣言」をして、スキーを町技と定めています。毎年の予算においても、町技普及振興費として科目が設置され、いくつかの事業も行われています。しかし、その中身が本当に町技の普及振興に繋がっているのか疑問です。今後もスキーを町技としていくのであれば、真に普及振興となり、更には発展していくための施策、予算措置が必要ではないのか。</p> <p>町長、教育長の見解を伺う。</p> <p>(1) 旭ヶ丘スキー場の利用に関して (町長)</p> <p>①近郊のスキー場が毎年リフト料金を上げる中、旭ヶ丘スキー場については、町民無料にするべきではないのか。</p> <p>②町民優先の利用にするため、町内の学校授業以外の団体利用については、ある程度の規制が必要ではないのか。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(17)	(森 禎樹)		<p>前頁より</p> <p>(2) スキーの町スノーリゾート利用事業補助金について (教育長)</p> <p>①小中学生のリフト券無料配布のこれまでの配布実績と実利用実績は。</p> <p>②リフト券の無料配布ではなく希望者への一部補助とし、補助の範囲を拡大するべきではないのか。</p> <p>③リフト券の不正利用はないのか。</p> <p>④この事業が町技の普及振興に繋がっているのか。</p>		
18	森 禎樹	絵本館について	<p>絵本館は平成6年に開館し、今日まで多くの人たちが利用してきました。子育て世代を中心に、大人も子どももさまざまなコミュニケーションの場として重要な役割を果たしてきた本町独自の施設です。多くの利用者にとって利便性がよく、なくてはならない施設である一方、近寄りがたい、入りづらいといった意見もありました。今までの良い部分は継承し、不十分であった部分は改善してより良い施設にしていく必要があります。今後の運営について町長、教育長の見解を伺う。</p> <p>(1) 町の施策における絵本館の役割、重要度は。(町長)</p> <p>(2) 今後、更に充実させるための考えや方法はあるのか。(町長)</p> <p>(3) 教育的観点から考察した絵本館の立ち位置は。(教育長)</p> <p>(4) 旧絵本館の利用状況や運営方法を踏まえ、複合施設に移転後の運営方法、利用方法で変更点や改善点の検討はどこまで行っているのか。(教育長)</p> <p>(5) 複合施設に移転後の新絵本館は、利用者にとって今までと同様またはそれ以上に利便性の良い施設になるのか。特に空間の確保は十分にできているのか。(教育長)</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
19	森 禎樹	本町農業のPRについて	<p>本町では農業と観光業が二大基幹産業です。どちらも本町にとっては重要な産業であり、関連するところは多岐にわたります。新型コロナウイルスの終息後に復活を遂げた観光業は好調を維持し、更に発展していくと予想されます。一方、本町農業は、農家戸数の減少や気候の変化など厳しい状況が続く中、各農家は安全でおいしい農産物の生産に努力を重ねています。</p> <p>町長は、さまざまな場面で挨拶などの機会があり、本町の代表者、トップの立場で発言されています。その際、必ずと言っていいほど観光の話題に触れますが、農業、農産物については、ほとんど語られません。町長自らが俱知安町農業の良さや、俱知安産農産物の良さを発信することが必要ではないかと考えますが、見解を伺う。</p>	町長	
20	盛多 勝美	跨線橋の取り壊しについて	<p>新幹線札幌延伸の開業はトンネル工事の難航によって数年遅れると言われております。並行在来線のバス転換についても沿線自治体として同意はしたが進んでいない。</p> <p>このような状況のなか、跨線橋の取り壊し工事は進められており、2025年度から長期間、駅南側道道俱知安ニセコ線が車両の通行止めになると聞きます。</p> <p>近年は、工事の大型車両や観光バスが増加傾向にあります。その流れが北側の踏切に車両が集中しますと渋滞が予想され、交通規制や通学路の安全確保など交通安全対策が重要な課題であります。</p> <p>また、跨線橋の取り壊し後は、地域住民や通学生にとりましては、長期にわたり不便な生活となります。ぜひ車両が通過できる踏切の設置が必要と考えます。町長の見解を伺います。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
21	古谷 眞司	倶知安町立地適正化計画について	<p>倶知安町立地適正化計画の策定中であり、策定委員会の経過の報告も受けているところです。</p> <p>計画策定中ではあるが、以下の事項について確認したい。</p> <p>①駅周辺を商業地エリア（賑わいゾーン）と考えているが、都市計画の用途制限、及び街なみガイドラインの建物制限等との整合性と、具体的な都市機能、商業施設は明確にされるか。</p> <p>②将来へ向けての交通体系が、計画の中で明確にされるのか。</p> <p>③住居地域で、現在建て替えている南6条団地は災害対策等を考慮されると考えて良いか。</p> <p>④学校施設等の検討がなされていないように思われるが、居住エリアと関係が深くなると考えるが。</p> <p>⑤本計画により土地価格の変動が生まれると思われるが、想定しての計画になるか。</p> <p>⑥郊外地域の政策も計画の中に反映されるか。</p>	町長	
22	門田 淳	環境問題、ごみ処理の課題などについて	<p>近年、ニセコひらふ地区の宿泊施設の従業員や工事従事者の就労など、中長期の滞在者といった交流人口が多くなっている状況から、ひらふ地区のみならず、その周辺や市街地へ住居が広がりを見せており、これを起因として、さまざまな課題が起きている中、次の点について町長にお伺いします。</p> <p>①道路などに捨てられるごみのポイ捨てへの対策について。</p> <p>②転入者や事業者に対して、ごみの分別や捨て方などの指導はどのようにしているのか。</p> <p>③ごみステーション内のごみの氾濫などの課題への対策について。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
23	佐藤 英俊	公用車のドライブレコーダー装着状況について	<p>本町公用車のドライブレコーダー装着状況についてお尋ねします。</p> <p>公私の区別なく安全運転が第一です。これからの冬期間は町内には多くのレンタカーが走行します。中には冬道運転に不慣れなドライバーも多く、ヒヤッとした瞬間、危険を感じた運転など見聞きします。</p> <p>今はドライブレコーダーが普及し、万が一の事故の際にはその原因究明に大きく貢献することは広く周知されています。</p> <p>以上の点を踏まえお尋ねします。</p> <p>1)本町が管理する車両台数とドライブレコーダー装着済み台数。 2)今後の装着予定は。</p>	町長	
24	佐藤 英俊	街路樹の適切な管理について	<p>本町の町道、公園内通路などには街路樹が整備され、春から秋にかけ町民の癒しにもなっています。反面、秋の落葉の時季を迎えると、場所によっては多くの枯葉が風に舞い、人家の敷地に大量の枯葉で迷惑をかけていることも事実です。</p> <p>枯葉対策として住民の方々からの協力は不可欠と思います。改めて今後、対象住民の方々に枯葉対策の協力を求めているかがでしょうか。</p> <p>町長の考えをお聞かせください。</p>	町長	
25	佐藤 英俊	くっちゃん保育所ぬくぬくの非常時訓練について	<p>本町の未来を担う幼児たちの保育を担当されている関係者の皆さまの常日頃からの気配り、目配りが行き届き、大きな事故報告もなく経過していることは大変大切なことと思っています。</p> <p>しかしながら災害、事故は時を選ばず、です。保育所は幸いに消防、病院にも近い距離にあります。非常時への備えは万全に近いに越したこと</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(25)	(佐藤 英俊)		<p>前頁より</p> <p>はなく、保育所の訓練状況について町長にお尋ねします。</p> <p>1)火災避難訓練、地震対応訓練の実施状況 2)誤飲などの緊急を要する事案の救命・通報訓練の実施状況 3)不審者対応訓練の実施状況と対応備品の有無</p>		
26	佐藤 英俊	小中校のスキー授業・遠足へのスノーボード参加の検討、その後について	<p>本年6月定例会において、一般質問26番で「スキー授業・遠足へのスキー、スノーボード選択実現にむけて」件名での質問に対し、教育課程の編成は学校にあるものの、検討を促していきたい、との答弁を教育長からいただきました。</p> <p>その点を踏まえ教育長にお尋ねします。</p> <p>定例会終了後から11月まで4ヵ月少々の期間、学校関係者との話し合い、協議などの実施の有無。</p> <p>実施されたのであれば、各校のそれぞれの考え、実現に向けてのハードル(懸案される事柄)など、どのような意見があったのか。</p>	教育長	
27	佐藤 英俊	北海道原子力防災総合訓練について	<p>本定例会初日の行政報告でも触れていた10月31日に開催された訓練に参加し、一時滞在場所となっている室蘭市へ避難を行い、改めて日頃の心構え、準備の大切さを認識した。災害の規模によって避難対応などさまざまに異なることは承知しているが、訓練を通した中で感じた点についてお尋ねします。</p> <p>1)1日以内の一時避難指示のケースで住民のみならず、スノーシーズンピーク時には滞在客も含めた避難マニュアルを作成しているのか。</p> <p>次頁へ続く</p>	町長 教育長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(27)	(佐藤 英俊)		<p>前頁より</p> <p>2) 自家用車を使用した場合においても「避難退域時検査場所」で放射性物質の付着状況検査、除染が必要となるが、住民の方々の認識度を把握しているか。</p> <p>3) 防災無線を使用した周知のほか、外国人滞在施設への多言語によるマニュアル配布の実態はどのようになっているか。</p> <p>※配布されているマニュアルは「北海道総務部危機対策局原子力安全対策課」発行となっているが、具体的な避難方法についてはお住まいの町村役場にお問合せください。と表記されています。</p> <p>以上の3項目を町長へ伺います。</p> <p>【以下を教育長への質問】</p> <p>本年10月31日、小・中学校での訓練内容はどのようになっていますか。</p>		
28	佐藤 英俊	今シーズンのニセコモデルについて	<p>本年9月定例会において、一般質問26番で「24-25シーズンのニセコモデル」について質問しています。</p> <p>町長から今季に向け関係者間で必要な協議を行う旨の答弁をいただいています。以上の点を踏まえ次の点をお尋ねします。</p> <p>1) 本年11月20日総務常任委員会において、24-25シーズンのニセコモデル実施概要および主な変更点を含めた説明が行われたが、地域交通振興料金額は「検討中」となっていたが、決定された内容があれば示していただきたい。</p> <p>2) ニセコ町と本町の負担軽減内容を示していただきたい。</p> <p>3) 昨シーズン、応援いただいたタクシー会社各社に対し、営業補償、不慣れな雪道走行による車両修理補償、燃料代補償を行っていたが、今シーズンこれらの対応はどのようになるのか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
29	佐藤 英俊	ナイト号バス運行について	<p>過日自宅に配布された12月広報折込の中に、今シーズンの倶知安市街地とヒルトン・ひらふ地区を運行するバス時刻表がありました。</p> <p>今シーズンのナイト号便数は1本増便された6便となっていました。乗降できるバス停が昨シーズン20カ所に対し今シーズンは12カ所減の8カ所に大幅に減少されていました。</p> <p>ナイト号バス運行事業は観光協会事業の点は承知していることを踏まえ、町長にお尋ねします。</p> <p>令和6年度の本町予算において、観光費331,465千円のうち、対前年75,000千円増額の196,179千円が倶知安観光協会補助金として予算化されています。</p> <p>補助金は自治体などが政策目標を実現するために、事業者の取組に対し、事業資金の一部を給付する制度と考えます。ナイト号はその名称が示す通り夜に運行され、夜間運行の無い公共交通機関、タクシーの不足などを補う地域交通の役割をも担う存在と考えていました。</p> <p>観光客の利便向上と合わせ、地域住民にも利用しやすい工夫が求められると考えますが、町長の見解をお聞かせください。</p>	町長	
30	笠原 啓仁	『予算編成作業』重視する点は何ですか	<p>町の来年度予算の編成作業が始まりました。11月12日には「令和7年度 予算編成要領」が町長から各課長宛てに通知されています。</p> <p>編成作業に当たり、町長自身が最も重視している点は何ですか。</p>	町長	
31	笠原 啓仁	『こども誰でも通園制度』本格実施に向けた準備は	<p>「こども誰でも通園制度」が2026年度から全国の自治体で本格実施されます。</p> <p>保育士の確保をはじめ受け入れ体制の整備など、本町においても本格実施に向けて解決すべき課題が多いと思います。</p> <p>本格実施に向けた現在の準備状況などについてお聞かせください。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
32	笠原 啓仁	『家庭からの大型ごみ』 町による収集の再開を	「せめて年1回でもいいので、以前のように町で集めてくれないか」 これは私に寄せられた町民の声です。大型ごみの収集に関するこうした声は多くの町民、とくに高齢者から聞かれます。 町内会とも連携した中で、高齢者支援策の一つとして町による収集・運搬を再開すべきと思いますが、どうでしょうか。	町長	
33	笠原 啓仁	『懸案・喫緊の町政課題』 今後の方針や見通しは	懸案・喫緊の町政課題（問題）のうち、以下の件に対する今後の方針や見通しについてお聞かせください。 1. 旧東陵中学校の解体 2. 地域公共交通体制の整備 ①町内での「ライドシェア」の導入 ②郊外地域の公共交通体制の構築 3. 高齢者向け住宅の建設 4. 羊蹄山ろく発達支援センターの建て替え 5. 災害時の個別避難計画の策定	町長	
34	木村 聖子	制度に即した行政サービスを	①住民票等のコンビニ発行サービスの早期実現を マイナンバーカード機能の大きなメリットでもあるコンビニ発行サービスは本町では未導入である。会社への提出やパスポート申請時など閉庁時間でも受け取りが可能なコンビニ発行は勤労者にとっては便利なサービスであることはもとより、窓口の混雑緩和や業務の効率化につながると考える。 町民税が毎年増収していることやマイナンバーカードの活用を鑑みて、早期に実現していくべきと考えるが見解を伺う。 次頁へ続く	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(34)	(木村 聖子)		<p>前頁より</p> <p>②チャイルドシート貸し出しサービスの拡充 本町が子育て世帯応援のために行っているチャイルドシート貸し出しサービスは、好評を得ていると承知している。 道路交通法では6歳未満の乳幼児にチャイルドシート着用が義務付けされているが、警察庁・JAFの合同調査では4歳までの使用率が80.7%に対し、5歳は57.9%と使用率が低くなっており、死傷事故増加を受け、今年9月に日本自動車連盟 JAF が着用推奨基準としていた身長140cm未満から150cm未満に見直しをした。本町の対応状況について伺う。 また、着用推奨身長が150cm未満に引き上げられたことにより着用期間が長くなると考えるが、本町の貸し出し通算期間について延長してはどうか。</p>		
35	木村 聖子	安心できる地域介護、救急医療体制について	<p>①昨年12月の一般質問において、町内の介護・福祉サービス事業者が一部事業を廃止したことに伴い、町内介護事業者の量的・質的サービスの維持について確認したところですが、その後の状況を伺う。 【町内介護事業からのヒアリング状況、支援策の検討状況など】</p> <p>②本年6月の一般質問において、冬期間インバウンドの救急搬送急増による救急車の適正利用の促進や、リゾートで受傷した軽症者を救急車を利用せずともリゾート内で処置するリゾート医療体制の必要性について質問した。 今季の宿泊予約は、過去最高の入り込みと言われた昨年度を上回る入り込みが見込まれている。またシーズンスタッフも相当数おり今シーズンの状況について伺う。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を求める者	メモ
36	藪中 聡史	旭ヶ丘スキー場における無許可での営業行為の対策について	<p>今年度もスキーシーズンが到来したが、今年3月に開催された第1回定例会において、旭ヶ丘スキー場における無許可での営業行為の対策について質問をした。</p> <p>町からは、「新たなルールの策定やスキー場内の掲示、さらには観光協会を通じた事業者等への周知について検討」との答弁を頂戴したが、今シーズン、どのような対策を講じるか、お聞きしたい。</p> <p>町のWebサイトにおいては、今シーズンの旭ヶ丘スキー場は令和6年12月27日にオープンするとの情報が公開されているが、無許可での営業行為に関する注意のお知らせ等の掲載はない。</p> <p>旭ヶ丘スキー場に、無許可での営業行為に関する注意の看板（日本語だけでなく多言語表記が望ましいと考える）を出す等の対策を実施するのか。</p> <p>無許可での営業行為を取り締まる条例の制定をするというのは、時間がかかる等ハードルが高いと思うが、せめてお知らせや周知を徹底する等の対策はしっかり行っていただきたい。</p>	教育長	
37	藪中 聡史	倶知安町観光地マスタープランの見直しについて	<p>町では、令和2年度から12年間の観光地マスタープランを策定しているが、12年計画の前期4年間が終わり、中期4年間に入った。</p> <p>町のWebサイトに掲載されている、マスタープラン概要の資料を確認すると、想定されるプロジェクト等が細かに記載されているが、これまでのコロナ禍や今後の新幹線の開業の遅れ等の状況を考慮し、</p> <p>①マスタープラン前期4年間の総括 ②中期4年間、後期4年間の見直し が必要ではないだろうか。</p> <p>マスタープランを策定するまでには、検討会を何度も開催し、時間をか</p> <p>次頁へ続く</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
(37)	(藪中 聡史)		<p>前頁より</p> <p>けて策定しているが、計画完了部分の総括や、昨今の状況を踏まえて、今後の計画も必要に応じて見直しすることで、現実に沿ったマスタープランが進められるものとする。</p> <p>総括や見直しもせずに、最初のマスタープランのまま、というのは現実的ではない。</p>		
38	藪中 聡史	個人住民税を滞納している外国人居住者への徴収対策について	<p>町役場の入口の掲示板を先日拝見したところ、住民税滞納者のお知らせが掲示されていたが、人数が非常に多かったことに衝撃を覚えた。</p> <p>住民税は、倶知安町に住むものとして、行政サービスへの対価として納めるべき義務であり、多くの滞納者がいることは望ましくないとする。</p> <p>参考までに、他の自治体での対策を調査していたところ、留萌市では、「外国人を雇用されている事業主の皆様へ（お願い）」というものをWebサイトで掲載し、住民税の滞納対策として、事業主も巻き込んで、対策を行っている。</p> <p>町も、他の自治体を参考にして、事業主も巻き込んで住民税の滞納を減らす取組を行うべきではないだろうか。</p>	町長	

番号	氏名	質問件名	質問の要旨	答弁を 求める者	メモ
39	木村 俊一	駅前通りについて	<p>経済建設委員会でまちづくり新幹線課から立地適正化計画の説明を受けました。方向性と問題が分かりやすくまとめられています。それを踏まえ何点か質問いたします。</p> <p>9月の定例会で町長は、駅周辺再開発と駅前通りについてデベロッパーとの再開発を行なわないと発言されました。今回まちづくり新幹線課からは、駅前通りの無電柱化とロードヒーティングの説明がありましたが、この2つの再開発案で民間からの投資を呼び込むことができるのでしょうか？立地適正配置と一緒にもっと具体的な提案を示した方が良いのでは？</p> <p>歩道の融雪についても3メートルある歩道のうち、融雪にかかる経費を少なくするという理由で2メートルとしているようですが、現在も空き地や地権者が住んでいない所は除雪が行われていなく、歩くことが難しい状態です。2メートルにした場合、残り1メートルを除雪するということになります。除雪ができず歩きづらい歩道となり、現在の状況と同じ結果となってしまうことが危惧されるため、全面的融雪が必要になると考えます。倶知安町の顔ともいえる駅前通りは日本だけでなく世界中から来た人を迎える大切な所と考えますので、もう一度検討した方が良いと考えます。</p> <p>駅周辺街なみガイドラインによると、駅からの眺望が羊蹄山の3分の1までとする高さ制限がありますが、駅前通りを中心に右側は高さ制限があり、左側が無いということになり、同じ条件ではないため投資に偏りがでてしまい、高さ制限がある所は投資の対象にならないことが考えられます。</p> <p>発想の転換で、今は「道の駅」は郊外が常識と思っていますが、街の中（駅前通り）に配置し、駐車場を確保し、そこに集まった人が歩いて散策できるような街並みにし、立地適正化計画を進め、町全体がどうしていくかを早急に決め、同じ条件で駅前を開発していく必要があると考えます。</p> <p>魅力ある提案をして投資を呼び込むプランを早期に考えていかなくては。</p> <p>町長の考えを伺います。</p>	町長	